

## 「中国報」(中国レポート 第十二号)

### おすすめ書籍 (番外編)

～新型コロナ禍の出張不可能状態のため番外編：おすすめの中国関連書籍情報～

### 中国「コロナ封じ」の虚実 デジタル監視は14億人を統制できるか 高口康太著 中公新書ラクレ

新型コロナ感染症の流行を中国が認めたのが、2020年の1月20日で、著者は早くも20年2月17日に広東省深セン市を訪問しており、その時の状況も描かれている。ただ、全体としては「デジタルチャイナ」に関して記述した書籍である。

深センの中国の飲食店のマクドナルドでの、「店の中には客を入れずにスマホでオーダーさせて店の入口で手渡す」という体験レポートがある。店員が商品を持ってくるときには、店の入口におかれた長机に置いていき、商品を受け取る際には、店員が安全圏内に離れてから、受け取りに行く」という人質交換のようなシーンだ。

ネット上で確かにそういうこともやっていたなと思ひ出させるが、形は異なるがスマホで注文して店頭でテイクアウトするというのは、既に日本の日常にも入り込んでいるといえる。コロナ禍が、デジタル化の遅れた日本でもこのようなスタイルを加速化したことは間違いない。

また、「外出規制が続く中国でも人々は体が動かしたくなるようで、散歩やジョギングする人を多くみかけた」という。最も他人との距離をあげ、ちゃんとマスクを付けており、この点がコロナ後の風景の特徴でもある。これを著者は「不思議な光景に見えた」というが、この光景も数カ月後には日本の緊急事態宣言下でも見られた光景だ。

同調圧力の強い(中国の場合は強制であるが)日本では、今でも家の外を出る際に、マスクの着用は日常的な姿になっている。

著者は、現在の「デジタルチャイナ」の分水嶺は2014年であるという。この年の年末に4Gの本格運用が開始されたのを嚆矢とする。2004年に配布がはじまったICチップ内臓の第二世代身分証は、有効期限が10年で、すべての国民の身分証は、14年にすでに第二世代に切り替わっていることになる。身分証明証は16歳以上の国民すべてが所有しており、高速通信とスマホ、個人を認証できるICチップ付きのIDカードというインフラが整った時期がまさに14年としている。

2015年にはインターネットプラスの医療関係がスタートし、「看病難、看病貴、看病煩、看病弱」という医療の問題点も徐々に改善され、スマートシティも進展、そしてコロナ禍で活躍した「健康コード」もデジタルチャイナの基盤の上に成り立っている。

いずれも12年の習近平体制成立以降、デジタル化が強化されてきたもので、国家資格として12年の「ネット世論分析師」が国家資格となり、世論監視システム整備に貢献しているという。民間企業が自らのビジネスのために発展させてきた消費者分析やネット情報分析の技術

は、少し変更するだけで中国政府がネット監視ソリューションとして活用できるそうだ。

また、コロナ禍での新ビジネスとして社区團購（コミュニティ共同購入）も誕生したとのことである。このあたり、コロナ禍で困っていることを解決し、それをビジネス化してしまうのは、ころんでもただ起きないという国民性だろうか。

言論の自由を守るがゆえにフェイクニュースやインフォデミックへの対策が後手に回る世界がいいのか、独裁政権の言論統制の副産物として科学的に正しい健康情報が配信される世界がいいのか。著者はどちらも勘弁願いたい、いいとこ取りできる第三者が存在するのかと疑問符を付けながら問うている。

また、今回の新型コロナウイルスの発生に関係するとされる**野味**（ゲテモノ食い）に関しても、興味深い記述がある。中国料理の最高峰である満漢全席には、クジャク、ゾウの鼻、ラクダのこぶ、猿の脳みそ、ヒョウの胎児、オランウータンの唇が含まれており、野味好きは伝統とする。2014年にはパンダ肉も販売されていた。

2003年に商業利用のための人工繁殖を認められた54種の動物のリストが発表された。SARSで有名になったハクビシンも含まれていたが、さすがに、ハクビシンが含まれているのはまずいだろうというので、急遽リストから削除されたそうだ。このあたり、ルールを決めても現実に合わせて運用する融通無碍なところも垣間見られる。

新型コロナの発生で、2020年には逆に食べても繁殖させてもいいというホワイトリストが発表されたが、ワニ、スッポン、ウシガエル、ヘビ、ザリガニ類が掲載されず、大騒ぎになったとのことである。なお、ようやく2020年のホワイトリストからは犬、ネコが外されたとのことだ……。

リアルなデジタルチャイナと新型コロナ対策を知ることができる一冊である。

(2022/04 森山博之)

---

本レポートに関する問い合わせ先：<https://arc.asahi-kasei.co.jp/contact/>